

# 地域包括ケアシステム検討部会について

## 1 設立趣旨

\* 「精神保健福祉関係機関連絡会議」と連携し、「地域包括ケアシステム」についての研究・検討を行い、精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができる体制づくりについて協議する。

## 2 部会員構成

\* 別紙のとおり

## 3 令和3年度の取り組み

### (1) 概要

- ① 令和3年度については、以下のとおり2回実施。第1回は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けての地域課題について協議。以前と比べ、精神障害者に対応可能なグループホーム、就労系事業所、訪看等の増加など社会資源は整備されてきている反面、社会資源同士の連携、長期入院者本人及び家族への退院支援、ピアサポートの活用など様々な課題も出された。
- ② 第2回は、WRAP（元気回復行動プラン）のファシリテーターである久留米大学 坂本准教授より、「リカバリー」の考え方、リカバリーのツールのひとつであるWRAPについて講演を受け、意見交換を行った。

### (2) 開催内容

開催日	協議事項等
R3. 7. 30（金）	・地域包括ケアシステム構築に向けた久留米市での地域課題について
R3. 11. 19（金）	・久留米大学 坂本准教授による講演（勉強会） 「リカバリー」の考え方について

## 4 令和4年度協議事項及びスケジュール（案）

\* 保健所、精神保健福祉関係機関連絡会議と連携しながら、部会を実施予定。

### (1) 協議事項

- ① 久留米市における精神障害者への施策について
- ② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業（地域生活支援促進事業）について

(2) スケジュール

- ① 7月を第1回目として、年度内に2回程度開催し協議する。